がんばる石巻応援寄附

令和５年度実績報告

１　令和５年度寄附受入実績

１０４，９０８件　　１，３５７，１３０，６４９円

寄附内訳		件数	寄附金額
寄附受入実績		104,908	1,357,130,649
内訳	ふるさと納税（通常版）	101,881	1,303,034,543
	ウクライナ人道危機支援	571	2,162,000
	能登半島支援	2,456	51,934,106

皆様からいただいた寄附金は、いったん「がんばる石巻応援基金」に積み立て、当該年度から翌々年度の事業に活用しています。令和５年度中にいただいた寄附金につきましては、令和６年度から令和７年度事業に活用させていただきます。

２　令和５年度寄附金の活用

令和５年度は、「がんばる石巻応援基金」から 559,510,000 円 を取り崩し、同額となる 559,510,000 円 を下記事業へ活用しました。

※令和５年度から使途区分の表記が変更となりました。

使途区分	充当額	充当割合
①住民同士の絆・支え合いで安心安全に暮らせるまち	60,796,000	10.9%
②都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち	23,917,321	4.3%
③共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち	21,679,229	3.9%
④多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	32,986,739	5.9%
⑤豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち	65,000,000	11.6%
⑥市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち	355,130,711	63.4%
計	559,510,000	100%

令和５年度　充当事業一覧

①住民同士の絆・支え合いで安心安全に暮らせるまち	1	地域交流・定着支援等事業費
	2	結婚支援事業費
②都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち	1	環境美化促進費
	2	環境政策推進費
	3	中瀬公園整備事業費
③共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち	1	包括的支援体制構築事業費
	2	子ども・子育て支援事業費
	3	子ども・子育て支援事業費
	4	子ども・子育て支援事業費
	5	母子保健事業費
④多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	1	畜産振興費
	2	水産振興事業費
	3	水産振興事業費
	4	地域の宝研究開発事業費
	5	リボーンアートフェスティバル開催支援事業費
	6	産業振興事業費
	7	商工業振興事業費
	8	物産振興事業費
	9	観光振興事業費
	10	観光振興事業費
	11	石巻圏ＤＭＯ推進事業費
	12	北上川等改修関連推進事業費
	13	港湾整備推進費
⑤豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち	1	教育指導奨励費
	2	社会科副読本関係費
	3	学校わくわくプラン事業費
	4	サイエンスラボ事業費
	5	学力向上推進事業費
	6	魅力ある学校づくり事業費
	7	子ども読書活動推進費
	8	博物館企画展・特別展事業費
	9	スポーツ交流推進事業費
	10	体育館管理費
⑥市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち	1	広報活動費
	2	がんばる石巻応援寄附関係費

①住民同士の絆・支え合いで安心安全に暮らせるまち

１．地域交流・定着支援等事業費

定住促進住宅取得等補助金

●　目　的 市外から市内に移住をしようとする者が住宅を取得、若しくは、改修した場合又は市内の空き家所有者が移住者へ賃貸するために当該空き家を改修した場合に補助金を交付することで、本市への定住促進を図る。
●　実　績 住宅取得　５２件（新築３３、建売１０，中古９） 住宅改修　１件
●　成　果 想定を上回る申請があり７月下旬には受付を終了するほど認知度が向上しているほか、本補助金が後押しとなって移住する方が一定数見受けられるなど移住定住の促進が図られた。

２．結婚支援事業費

結婚等支援事業補助金

●　目　的 結婚から子育てまで、切れ目のない支援を促進するため、結婚を希望する独身者及び新婚世帯への支援を拡充し、未婚・晩婚化の抑制を図るとともに、本市への移住・定住者の増加を促進するもの。
●　実　績 みやぎ結婚支援センター利用促進補助金　２１件 結婚新生活支援事業補助金　６６件 みやぎ青年サポートセンター負担金
●　成　果 みやぎ結婚支援センター利用促進補助金及び、結婚新生活支援事業補助金によって、独身者や新婚世帯である若い世代への支援の充実が図られた。

②都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち

１．環境美化促進費

花いっぱい運動

● 目　的

環境美化の促進を図ることにより、清潔で健康な街づくりを推進し、緑豊かな美しいまちづくりを目指す。

● 実　績

１　令和５年度花いっぱい運動実施団体数　　全１４３団体

内訳：石巻地区　３９団体、河北地区、３７団体、雄勝地区　１３団体、河南地区　２０団体
桃生地区１０団体、北上地区　１９団体、牡鹿地区　５団体

２　花苗数　４３，７６６本

● 成　果

花苗を植える活動により、緑豊かな美しいまちづくりを実践することができた。

花いっぱい運動　植栽作業

２．環境政策推進費

太陽光発電等普及促進事業費補助金

● 目　的

自然エネルギーの利用を促進することにより、二酸化炭素の排出を抑制し、地球温暖化の防止に資するとともに、市民の環境に対する意識の高揚を図ることを目的としている。

● 実　績

申請件数及び補助金の額

⑴太陽光発電システム　１３６件

⑵蓄電システム　１８９件

⑶ＨＥＭＳ　３２件

● 成　果

太陽光発電による電力需給量の増加を促進し、二酸化炭素の排出を抑制することで、地球温暖化防止に資するとともに、カーボンニュートラル社会の実現に向けて市民の環境意識高揚を図ることができた。

３．中瀬公園整備事業

● 目　的

「かわみなと石巻の原風景の再生と創造」を基本理念とし、中瀬地区全域を公園化するもの。

● 実　績

Ａ＝０．４ｈａの公園施設整備工事を実施した。

（工期：令和５年７月１４日から令和６年１月３１日まで）

● 成　果

令和９年度の完成に向け、整備進捗が図られた。

中瀬公園整備状況

③共に支え合い誰もが生きがいを持ち
自分らしく健康に暮らせるまち

１．包括的支援体制構築事業費

地域互助活動促進事業費(助成金)

● 目　的

市民主体の団体が身近な地域において行う日常生活上の助け合い活動に対し、助成金を交付することにより、次世代型地域包括ケアの推進並びに、地域共生社会の実現に向けた取組みを推進することを目的とする。

● 実　績

４１団体が実施する７４事業について交付

内訳：送迎支援(９団体)、見守り・助け合い（２４団体)、交流活動（１６団体)、
複合活動（４団体)、イベント活動（２１団体)

● 成　果

４１団体が実施する５つの事業（７４団体実施）について、助成金４，２６１，０００円を交付

【内訳】

送迎支援(９団体)	１，０８０，０００円
見守り・助け合い（２４団体)	１，３８４，０００円
交流活動（１６団体)	９３７，０００円
複合活動（４団体)	２３０，０００円
イベント活動（２１団体)	６３０，０００円

２．子ども・子育て支援事業費

⑴ベビーグッズセット進呈、出産祝メッセージ作成

● 目　的

次代を担う子どもの妊娠・出産を祝うとともに、その子どもの健やかな成長を願い、祝い品を贈呈することで、子育てにやさしいまちづくりを推進し、少子化対策の一助になることを目的とする。

● 実　績

妊娠祝い品贈呈数　５５７個

出産祝い品贈呈数　５７２個

● 成　果

祝い品を贈呈することで、妊産婦との良好な信頼関係を築く一助となっている。

出産祝品等として、マタニティーマークキーホルダー（写真左)、今治タオル製品のベビー用品（写真右）

マタニティーマークキーホルダー、
ベビー用品セット

⑵小学校入学祝金支給

● 目　的

第２子以降の子を監護する保護者等へ、小学校入学祝金を支給することにより、少子化対策の推進及び子育て家庭等における経済的負担の軽減を図ることを目的とする。

● 実　績

支給対象人数　４６３人

支給額　１３,８９０,０００円

● 成　果

対象となる第２子以降の子が就学する小学生を持つ保護者に入学祝金を支給することにより、安定した子育てのしやすい環境を整えることに寄与している。

⑶育児ヘルパー事業委託料

● 目　的

妊娠期から子育て期の切れ目のない支援を実施し、安心して子どもを生み育てられる環境整備の充実を図る。

● 実　績

サービスの申請件数　　８１件

サービスの回数　　５８０回

● 成　果

ヘルパーを派遣し、家事支援や育児支援を行うことにより、安心して育児ができるようになっている。利用者からは、大変な時期に育児を乗り越えられた等の感謝の声が寄せられている。

⑷新生児聴覚検査委託料

● 目 的

乳児期において、早期に検査を行うことにより、聴覚障害を早期に発見し、子どもやその家族に適切な支援を行うことで、音声言語発達等への影響を最小限に抑え、コミュニケーションや言語発達を促進することと併せ、検査費用を助成することにより、経済的負担の軽減を図る。

● 実 績

自動聴性脳幹反応検査（ＡＡＢＲ）：　２０３件

耳音響放射検査（ＯＡＥ）　　：　３２８件　　計　５３１件

【参考】

令和５年度出生者数　６０１人

● 成 果

聴覚障害は、早期に発見され適切な支援が行われた場合には、障害による音声言語発達等への影響が最小限に抑えられることから、その早期発見・早期療育を図るために、全ての新生児を対象として新生児聴覚検査を実施することが重要である。

これまでは自己負担による検査のため、検査料金の負担と検査結果の不明瞭があったが、負担軽減と検査結果が明瞭となり、検査結果においてリファー（要再検）や要治療となった対象児への受診勧奨を行うことにより、疾病の早期発見、早期治療につながっている。

④多彩な人材が活躍し、誇りと活気にあふれるまち

１．畜産振興費

いしのまき和牛ブランド化対策助成金

●　目　的

宮城県基幹種雄牛を活用した石巻地域の和牛ブランド化と、優良な和牛生産地としての地位を維持するため、保留対象牛導入者へ経費の一部を助成することにより、子牛生産現場における生産意欲の高揚を促すもの。

●　実　績

・石巻市産の種雄牛の子牛（肥育）：　４頭
・石巻市産以外の県種雄牛の子牛（繁殖）：　１７頭
・石巻市産以外の県種雄牛の子牛（肥育）：　４２頭　　計　６３頭

●　成　果

優良血統肉用牛の地域内保留が図られたことや、優良肉用牛産地としての和牛ブランド化を推進するとともに、生産意欲の高揚が図られた。

２．地域の宝研究開発事業費

オリーブ栽培事業補助金

●　目　的

市の地域特性を活かした地域の宝となる野菜や果実等の新たな特産品の研究・開発を行うことにより、基幹産業である農林水産業の発展と推進に寄与する。

●　実　績

１　補助対象総面積	６９，２７２．３８㎡
⑴北上地区	４９，４１６．９１㎡
⑵河北地区	１９，８５５．４７㎡
２　栽培総本数	１，４１５本
⑴北上地区	９８２本
⑵河北地区	４３３本

●　成　果

新規果樹等栽培事業経営安定化補助金を活用することで、未収益期間の経営の安定化が図られ、自立栽培に向けた密植解消の移植にも取り組むことができた。

３．水産振興事業費

⑴密漁対策補助金

● 目 的 アワビ・ウニ等の密漁を防止し、沿岸水産資源の保護及び漁家経営の安定を図る事を目的とする。
● 実 績 延べ監視日数　７１７日（監視船３７８日、監視所３３９日） 延べ監視時間　４，３０２．５時間（監視船９５３時間、監視所３，３４９．５時間）
● 成 果 監視活動を実施し不審船を追尾するなど、密漁行為を未然に防止した。

⑵食品輸出振興協議会負担金

● 目 的 主要輸出対象国等における石巻ブランドの販路開拓を通して、一層の輸出数量及び輸出品目の拡大を図る。
● 実 績 ⑴共同輸出に向けた体制強化 幹事会・事業者会議の開催、相談体制の継続、輸出可能商品の拡充 ⑵輸出拡大に向けた取組み ＧＦＰグローバル産地づくり推進事業、その他各種商談。
● 成 果 ⑴共同輸出に向けた体制強化 事業者会議を開催したことで事業者間の連携に繋がったほか、事業者の意見を事業へ反映することができた。 ⑵輸出実務に係る相談体制を整え、輸出情報の提供、事業者への訪問を随時行ったことで、事業の円滑化が図られた。 ⑶輸出拡大に向けた取組み ＧＦＰグローバル産地づくり推進事業を活用し、アメリカ輸出に向けた産地体制づくりの推進が図られた。 ⑷現地卸売業者との連携により、大手飲食店のメニューに石巻産食品が採用され、大口の定期的な取引が成立した。 ⑸アメリカでの石巻フェア開催により、現地の消費者の反応やニーズを確認することができた。

４．リボーンアートフェスティバル開催支援事業費

リボーンアートフェスティバル補助金

● 目　的

アーティストが地域と交流しながら、牡鹿半島、ひいては宮城県の魅力を広く発信することで交流人口の増加や雇用の創出等を図る。

● 実　績

令和５年度は本祭の開催が無かったため、次回本祭に向けた関係機関との調整や、各種維持管理等を行った。

● 成　果

プレイベントの開催は無かったが、常設作品の「Ｗｈｉｔｅ　Ｄｅｅｒ　（Ｏｓｈｉｋａ）」の令和５年度延べ来場者数は、約８，５００人であった。

５．産業振興事業費

創業支援補助金

● 目　的

地域における創業者の支援を行い、開業率の向上による本市産業の活性化及び雇用の確保を目的とし、本市において創業（第二創業を含む。）を行う事業者を支援するために交付するもの。

● 実　績

１５件の応募に対し、書類審査及びプレゼンテーション審査を経て１０者が補助金の採択者となったほか、前年度からの継続案件７件に対しても補助金の交付を行った。

● 成　果

令和５年度に新規採択を受けた１０者のうち、９者が実際に市内で創業を開始しており、産業の活性化や雇用の確保に繋げることができた。また、残りの１者についても創業準備中であり、令和６年度中に創業を開始する予定である。

６．商工業振興事業費

石巻フード見本市開催事業費補助金

●　目　的

企業の商品の生産・流通の再生と、石巻地域における優れた地域食材の販路開拓・拡大を目的とする。

●　実　績

市内の水産加工会社を中心に２８社が出展し、展示や試食会を通してバイヤーに対して各企業の主力商品の PR を行った。例年よりも多くの商談が行われており、商談成立につながった企業もあった。特別企画コーナーでは、おつまみと地酒のコラボコーナーに足を止める来場者が多かったことから、水産加工品と相性の良い地酒を合わせて紹介することにより、商品のイメージや石巻のポテンシャルを効果的に周知できたと思われる。

※来場バイヤー数：１４０社　３５０名

●　成　果

市内外から多くのバイヤーが来場して終始盛り上がりを感じる見本市となり、石巻市の新商品や水産加工の技術を全国へ発信することができた。

７．物産振興事業費

伝統工芸品振興事業費補助金

● 目 的

国の伝統的工芸品に指定されている「雄勝硯」の技術と伝統を、後継者育成を含め継承するとともに、消費拡大、生産基盤強化を図るもの。

● 実 績

１　技術継承

⑴製作技術研修会　８回

⑵後継者への技術指導・硯生産のワークショップ（マイ硯）　　小中学校３校　２７０名

⑶宮城県伝統工芸インターンシップ事業の実施

２　販路拡大

⑴各種物産展への出店、講演等　県内外　４か所

⑵北海道庁へのスレート販売（納品）の実施

⑶ネット販路（楽天市場）の強化生産基盤強化

３　生産基盤強化

製作副資材共同購入、雄勝石採石事業、経済産業省事業の伝統的工芸品振興計画書の作成（伝統的工芸品産業支援補助金）

● 成 果

ワークショップや物産展参加の回数については、昨年度を下回る結果となったが、経済産業省事業の伝統的工芸品振興計画書を作成し、伝統的工芸品産業支援補助金が採択されたことから組織強化が見込まれ、それにより今後の様々な事業の拡大に繋がるため、一定の成果があった。

８．観光振興事業費

⑴マンガバスラッピング事業

● 目 的

仙台圏域へ向け、本市の観光情報発信と観光交流人口の拡大を目的とし、石巻～仙台間を運行する高速バス２台へ本市の観光素材とマンガを組み合わせたラッピングを施すもの。

● 実 績

・ラッピング期間：令和５年４月１日～令和６年３月３１日

・ラッピング台数：２台

・ 運 行 回 数：１日４往復（民間バス会社運行のバス１台につき２往復）

● 成 果

平成３１年４月より新デザインでマンガバスの運行を行い、市内の周遊・滞在を促進するＰＲを仙台－石巻間にて実施した。

令和６年３月に、せんだいタウン情報「ｍａｃｈｉｃｏ」に会員登録している方に対してアンケート調査を行ったところ、回答数３８５件のうち約３５％が本市のマンガ関連施設全般を観光資源として認知しており、認知に一定の効果を発揮したと想定される。

⑵石巻港大型客船誘致協議会負担金

● 目 的

石巻港における大型客船の利用促進を図り、もって石巻地域及び松島地域の活性化に寄与することを目的とする。

● 実 績

①客船誘致：ポートセールス２回実施
令和５年６月２１日、令和６年２月８日
②客船歓迎おもてなし：客船寄港回数５回
７月３０日 パシフィックワールド
８月 ３日 ＭＳＣベリッシマ
９月２０日 にっぽん丸
１０月３１日 にっぽん丸
１１月２２日 ＭＳＣベリッシマ

● 成 果

５回の客船寄港を通じて合計９，６１３人の乗船客が石巻港を訪れた。また、以前からポートセールスを行っていたＭＳＣベリッシマが石巻港初寄港を果たし、客船誘致の効果が表れた。

９．石巻圏ＤＭＯ推進事業費

いしのまき版DMO運営推進事業費負担金

● 目 的

観光動態を把握し、分析を行い、観光関連事業者へ指南する「旗振り役」としての役割を担うＤＭＯ法人である「石巻圏観光推進機構」へ、負担金を交付し、石巻市及び隣接する東松島市、女川町と形成している広域圏の観光特性と連携性を高め、観光誘客を増加させ、交流人口の拡大、観光客の通過型から滞在型への転換を図ることを目的とする。

※ ＤＭＯ：Ｄｅｓｔｉｎａｔｉｏｎ（観光を）、Ｍａｎａｇｅｍｅｎｔ（経営する）またはＭａｒｋｅｔｉｎｇ（ニーズを掴む）、Ｏｒｇａｎｉｚａｔｉｏｎ（組織）の略

● 実 績

①インバウンド推進事業

プロモーション活動：（中国旅行会社に対し、金華山やＲｅｂｏｒｎ－Ａｒｔ－ＦｅｓｔｉｖａｌのＰＲ、テストマーケティングを実施）

農水省ＳＡＶＯＲＪＡＰＡＮ認定を受け食文化を発信、ＰＲ

②サイクルツーリズム推進事業

サイクルイベントの開催、サイクルステーションの設置、レンタサイクル事業の展開

③教育旅行誘致事業

④データ収集・分析事業

● 成 果

石巻市観光客入込数　R5　4,931,248 人

石巻圏観光客入込数　R5　6,368,073 人

１０．北上川等改修関連推進事業費

北上川フェア実行委員会補助金

● 目 的

北上川とふれあうことによって、北上川の果たす役割の理解促進及び河川愛護への意識高揚を図り、北上川を通じた人と人、地域と地域との連携を図り、多くの地域住民の参加によって地域の活性化を図る。

● 実 績

「北上川フェア２０２３」の開催

開催日時：令和５年１０月２９日（日）１０：００～１５：００

場　　所：かわまちオープンパーク及び北上川

来場者数：約１，５００人

● 成 果

新たに整備された堤防一体空間での開催により、本市のすばらしいロケーションを感じながら、北上川の役割、恩恵を再認識できるイベントとなった。

１１．港湾整備推進費

港湾感謝祭負担金

● 目 的

石巻港の地域経済に果たす役割の理解促進及び交流拠点としての港の重要性の意識高揚を図り、住民参加型の港湾を推進し石巻港の振興発展を図る。

● 実 績

第２２回　港湾感謝祭　開催

開催日時：令和５年１０月１日（日）10：00～15：00

場　　所：石巻港大手ふ頭

来場者数：約１５，０００人

● 成 果

港湾関係者等の協力により４年ぶりに港湾感謝祭を開催し、地域産業と港の役割・重要性を広くＰＲするとともに、港を活用した賑わいの創出が図られた。

⑤豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち

１．教育指導奨励費

小中学校体育文化活動補助金

● 目　的

石巻市の小中学校の児童生徒の体力向上及び情操教育の推進に資するとともに、大会に参加する児童生徒の保護者等の経済的負担軽減を図るため、教育活動の一環として児童生徒を各種大会等に派遣することに要する費用に対して、予算の範囲内において石巻市立小中学校体育及び文化活動補助金を交付する。

● 実　績

中体連等体育大会への交通費（バス代等）補助金として、市内中学校１７に対し、地区大会５７件、県大会４３件、東北大会９件に総額２１，５９３千円を交付した。文化活動補助件数としては、１２校に対し地区大会１０件、県大会６件に補助金１，０５７千円を交付した。

● 成　果

該当する事業内容に対して、補助金補助率７５％（文化活動の楽器輸送費は１００％）を交付しているため、保護者の負担軽減を図ることができた。

２．社会科副読本関係費

小中学校用社会科副読本作成

● 目　的

社会科学習の地域教材となる副読本を作成し、自分たちの住んでいる地域社会や地域の歴史・文化に対する関心を高め、理解を深めるとともに、地域を愛する心情を育てる。

● 実　績

社会科の地域学習の教材となる副読本を作成し、小学校３年生、中学校１年生に配布した。

小学校３年生用：１，２６０部

中学校１年生用：１，２３０部

● 成　果

社会科副読本を活用することにより、児童生徒が石巻市の歴史や社会的事象について意欲的に学ぶことができた。また、地域社会の一員として自覚や地域に対する誇りと愛着を深めるような学習展開を進めることができた。

３．学校わくわくプラン事業費

● 目　的

児童生徒が学校生活に「わくわく感」の持てる取組を行う。子どもたちが主体的に学び、支え合い、個人の成長、集団の成長を促していく実践を推進することや、教員の指導力向上を図る。

● 実　績

指導力向上研修会　　１回
授業コンサルテーション　　実施校数：小学校２校、中学校２校
わくわくフェスティバル　　１回　参加校数：小学校８校より

● 成　果

全体研修会や専門的視点からのコンサルテーションにより、教員が改めて協同的な授業の実現の価値を理解することができ、そのことにより、児童生徒が主体的・意欲的に学習するための授業改善が推進されてきた。

４．サイエンスラボ事業費

理科教育の充実（スーパーバイザー経費等）

● 目　的

児童生徒が科学への興味･関心をもち、問題解決の力や自然を愛する心情を育てるとともに、教員の理科指導力の向上を通して、石巻市の理科教育の充実を図る。

● 実　績

１　科学巡回教室、科学イベントを、２６小学校、３中学校、６幼稚園・こども園、その他１施設等において延べ７４回実施
２　学校・教員に対する相談活動は、科学巡回教室の際に情報交換を行った。
３　夏季休業に開催した研修会では、小学校教員を対象に、手回し発電機を使った化学授業体験や、液体窒素やドライアイスを用いた科学あそび体験活動を行った。
４　企業と連携し、電子顕微鏡を用いた理科出前授業を実施した。

● 成　果

サイエンススーパーバイザーによる楽しく分かりやすい授業により、受講した児童生徒は科学に対する興味を高め、意欲的に学習することで理解を深めることができた。また、教職員向けの研修会を実施することにより、教員の理科指導力向上の一助となった。

５．学力向上推進事業費

● 目　的

全国学力･学習状況調査の分析を基にした指導の工夫改善を図り、確かな学力向上に努める。

● 実　績

標準学力調査受験者数

４月　　小学生　４，８４１人（１年生を除く）
　　中学生　２，９４４人
　　計　　７，７８５人
１２月　小学生　５，５９０人
　　中学生　２，７６３人
　　計　　８，３５３人

● 成　果

標準学力調査の結果を受け、各校においては、その分析と教員による授業改善が検討･実施された。また、学力向上推進委員会において、学力向上に関する取組について意見を聴収し、その結果等については各校へ発信し、授業改善の水平展開を促進した。

６．魅力ある学校づくり事業費

● 目　的

未来を生きる基盤となる資質･能力を身に付けさせ、豊かな人間性や品格を持ち、地域社会に貢献する人材を育成する。。

● 実　績

・品格教育に係る講座（小笠原流礼法指導）
・学力保証に係る講座（授業づくり研修：先進校視察）
・キャリア教育に係る講座（社会人講話、進路探究、親教育）
・「桜坂タイム」を軸とした地域社会と連携した探究活動の実施
・高大連携の出前講座の活用
・ハローワークとの連携による合同企業説明会への参加

● 成　果

地元の各方面で活躍している方を講師として招聘することにより、生徒のロールモデルとなり、将来、地域の社会で生きていくための、なりたい自分へのイメージを持つことができた。

７．子ども読書活動推進費

子ども読書活動推進事業

● 目　的

乳幼児期に読書の楽しさと出会うために、保健相談センター等で実施される乳幼児検診の際にブックスタート活動を実施し、乳幼児健診における読書活動の推進を図る。

● 実　績

１　ボランティアによる読み聞かせを再開し、のべ７３名のボランティアが参加

２　ブックスタートパックを５８２セット配布

３　読み聞かせボランティアに対する研修会を３回開催し、計４６名が参加

● 成　果

ブックスタート時のアンケートでは「ブックスタートにより、読み聞かせに繋がる」と回答した保護者の割合は１００％となっている。

８．博物館企画展・特別展事業費

● 目　的

企画展を通じ、博物館資料や石巻市に関する調査研究の成果を踏まえ、学術的な視点から石巻市の魅力を市民に分かりやすく発信し、市民の地域に対する理解を深める。また、時宜にかなった特別展を開催することで、市民の知的探求心を満たすことを目的とする。

● 実　績

	第5回企画展	第6回特別展	第7回企画展
展示名	民具のデザイン図鑑	学んで、旅して、 たのしむ浮世絵	高砂淳二写真展
会期	5/27~8/20	9/2~10/29	12/2~2/25
入場者数	1,651人	2,284人	5,919人
満足度	88%	91%	94%

● 成　果

企画展２回・特別展１回を開催し、９，８５４人の入場者数を記録し、満足度も９１％と高い水準を保つことができ、市民に対して文化・芸術に親しむ機会を提供し、知的探求心を満たすことができた。

９．スポーツ交流推進事業費

スポーツ交流イベント実施業務

●　目　的

スポーツ交流イベント実施を通して、様々な観点からスポーツの楽しさ・魅力を体感いただくとともに、市内スポーツ交流人口の増加を図り、スポーツによる街づくりを推進する。

●　実　績

スポーツ交流イベント運営委託業務

⑴　いしのまきスポチャレ２０２３

実施回数　１回、参加者数　９７人

⑵　ベガルタ仙台との連携事業

①訪問型サッカー教室

実施回数　７回、参加者数　１６１人

②ベガルタ仙台ホーム戦試合観戦事業

実施回数　２回、参加者数　３５人

③ベガルタ仙台健康体操教室

実施回数　１０回、参加者数　１５４人

④キャリアセミナー教室

実施回数　１回、参加者数　４５人

⑶マイナビ仙台レディースとの連携事業

①訪問型サッカー教室

実施回数　１回、参加者数　３６人

②観戦招待事業

実施回数　１回、参加者数　１８人

⑷楽天イーグルスとの連携事業

①ふれあいイベント

実施回数　１回、参加者数　４２人

②楽天イーグルスホーム戦試合観戦ツアー

実施回数　１回、参加者数　３７人

●　成　果

ベガルタ仙台並びにマイナビ仙台レディースとの連携事業において、新たに訪問型サッカー教室を実施したことにより、昨年度よりも、イベント参加者数の増加を図ることができた。

また、プロアスリート等との交流を実施することで、スポーツの楽しさや魅力を伝えるとともに、市民の健康増進や青少年の健全育成を図ることができた。

１０．体育館管理費

第１武道場用畳購入費

● 目　的

石巻市総合体育館第一武道場にある柔道用畳は、老朽化により大会開催に支障をきたしていること、また、練習中や競技中の選手の安全性を確保することを目的に、畳を新調し、武道を通じて心身の鍛錬及び青少年の健全育成に寄与する。

● 実　績

全日本柔道連盟公認の畳５７７枚を購入し、選手の安全性を確保するとともに、子供から大人まで各種大会を開催できる環境を整えた。

● 成　果

練習中や競技中の選手の怪我・事故等を未然に防止し、安全性を確保した。また、各種柔道大会を開催し、試合を通じて心身の鍛錬及び青少年の健全育成、並びに競技力の向上に寄与した。

⑥市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち

１．広報活動費

市報・ホームページの作成、発行事業

●　目　的 行政情報等を広く市民へ周知し、市政に対して関心を持っていただくとともに、市政への理解と協力が得られることを目指す。
●　実　績 令和５年５月号から令和６年４月号まで「市報いしのまき」を毎月各６２，０００部発行した。 また、ホームページ掲載情報の更新を随時行い、ＦＭラジオ放送では１日３回毎日１０分間行政情報の発信を行った。
●　成　果 市民の皆様に対し、行政情報を広くお知らせすることができた。

寄附者の皆様から頂いたメッセージを紹介します！

石巻市がますます元気なまちになりますよう応援いたします。

石巻独自の魅力を磨き、宮城第二の都市が仙台市とは異なる方向性でより発展していくことを期待します。

幼少の頃、家で働いていたお手伝いさんが石巻出身で、実家から仕送りされた海産物をしばしば頂き、美味しかった思い出が有ります。地震の被害が大きかった様だが、負けずに復興されん事を祈ります。

「がんばろう！石巻」看板をはじめ、震災の教訓を次の世代に繋げていくことが重要だと思いますので、頑張ってください。

石巻の牡蠣が大好きです。漁業もそれ以外の業も発展していってほしいです。

市内の女子校に通学していた頃が懐かしいです。進学を機に地元を離れましたが、震災のボランティアで娘が石巻を希望して参加したことに縁を感じました。

香取慎吾さんの「凪待ち」という映画を見ました。
お祭りのシーンでのお祭りがこちらだと Twitter で知り、応援いたします。
地元のみなさんの笑顔あふれるお祭りができますように。

家族が石巻に住んでいます。納税は少しばかりではありますが・・これからもどんどんと住みよい街になりますよう、応援しています。

令和６年度においても、寄附者の皆様のご支援により、市民サービスの向上や産業の活性化、文化の振興などに向けた各種事業を実施することができました。これからも、よりよい石巻市となるよう励んでまいりますので、引き続き応援くださいますようお願いいたします。